

# 「わたしの教育記録」特別賞

## 「学級模擬選挙からの学び」

6年生 社会（下） 総合学習「勤労奉仕」

「選挙権は私たちが持つことのできる大切な権利の1つであることを児童に教えていきたい。1票の重み、1票による政治参加を伝えられれば」という思いから生まれた、提案性のある実践記録を、全文掲載します。

千葉県船橋市立二宮小学校教諭 河邊昌之

平成27年6月、公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、公布された（平成28年6月19日施行）。

一言で言うとうと18歳から選挙に参加できる。しかし、選挙において現在、投票率の低さが問題となっている。

私の住む千葉県で最近行われた選挙を見ると、これが国民一人ひとりの生活や社会を良くするための大切な代表者決めなのかと疑問を持つ程、投票率は低い。

一部の人だけで決めた代表者による町作り、国作りが行われていると言われてもおかしくない状況ではないだろうか。

選挙に対して無関心なのか。誰に入れても変わらないか。困っているのか。困っていることが無いのか。特に一人ひとりの思いがないのか。理由は人それぞれで一概にこうだとは言えないが、投票率の低迷は民主政治の原則である多数決において、政治の安定化を図る

（千葉県選挙管理委員会より）

| 実施年     | 選挙名       | 投票率    |
|---------|-----------|--------|
| 平成 25 年 | 千葉県知事選挙   | 31.96% |
| 平成 25 年 | 参議院千葉県選挙  | 49.22% |
| 平成 26 年 | 衆議員千葉県選挙  | 51.24% |
| 平成 27 年 | 千葉県議会議員選挙 | 37.01% |

ことに支障をきたす恐れがある。

平成25年千葉県知事選挙の投票率31.96%を学級にたとえると、36人学級において11.5人だけで決定してしまうことになる。

国や地方自治体も投票率をこれ以上上げないために、期日前投票や不在者投票、在外選挙制度を整え、選挙日に決められた場所ので投票しなくても1票を投じることができるようになっている。

また、私の住む船橋市は今年度春に行われた市議会議員選挙において、投票後に来場証明書をもらい、飲食店でサービスを受けられる地域活性化の新しい試み「選挙割」を行った。「多くの人が選挙に興味を持つことで町が変わっていく」と考えた地元雑誌によってこのサービスが始まったのだ。

非常に面白い試みだったが、投票率は上がるところか下がってしまった。

ここまでは投票率に目を向けてき

たが、未来の投票率を上げることだけが目的の授業ではなく、選挙権は私たちが持つことのできる大切な権利の1つであることを、児童に教えていきたい。選挙権は大切な権利であり、そ

| 実施年     | 選挙名       | 投票率    |
|---------|-----------|--------|
| 平成 23 年 | 船橋市議会議員選挙 | 38.07% |
| 平成 27 年 | 船橋市議会議員選挙 | 37.16% |

の権利がなければどんな国作りが行われるかを考えさせ、1票の重み、1票による政治参加を伝えられればと考える。

## 授業1時間目

最初にアンケートを行った。アンケートは授業の中で、挙手によって行い、その後、各々に意見を交流させた。その時の意見交流をまとめた。分からないと答えた児童は、選挙の意味を理解できずに、正直に分らないと答えた。

悪いと答えた児童は、とても悪いまではいいないが悪いと思っている。その理由の1つに「誰に投票していいかわからないのでは…」。「あまり変わらないと思うているのでは…」と、大人を代弁するような意見を持っていた。

とても悪いと多くの児童からたくさん意見が出た。「他人事の世の中じゃ駄目。」「国民の権利の放棄。」「投票の大切さを知らない。」等、厳しい意見が多く出た。

投票率の結果だけを見ての感想と意見だが、1票の大切さを多

(選挙の投票率(平成25年千葉県知事選挙)このままで良いか 悪いか)

| とても良い | 良い | 分からない | 悪い | とても悪い |
|-------|----|-------|----|-------|
| 0人    | 0人 | 1人    | 4人 | 30人   |

くの児童が感じていた。

皆さんが選挙に行ける年齢になったら選挙に行くかと尋ねると、全員が行くと答えた。それにしても、多く児童(ほぼ全員)が選挙、投票に対して前向きな意見を持っていることが分かった。

### 発問①

#### 「選挙がなかったら」

- ・ 班になり、色々な意見を出し合い発表した。
- ・ 裕福な人や権力者だけで代表者を決め、自分たちの都合で政治が秘密に行われる。
- ・ 一般人の声が政治に届きにくい。何か言っても相手にされない。
- ・ 政治の批判ができなくなる。
- ・ 国民から選ばれるから価値がある。

選挙がなかったらを想像すると良くないことだけがあげられた。選挙がなかったらの良い点は、と聞くと、

・ 今よりも政治に興味がわくのではという面白い意見も出た。逆に政治のことを考えないで良いという意見も出たが、それはないと反論があった。

## 授業2時間目

みんなで物事を決める楽しさや難しさ、1票の重みを学習するために、模擬選挙を行うこと

を伝えた。

### 学級模擬選挙

#### 「卒業までの2か月をどう過ごすか」

選ばれた意見や考えをみんなで協力して行う。そして、最高の卒業式を迎える。

### 政党作り

「卒業までに何をしたいか」をまず一人ひとりに考えさせた。

また、意見が同じ人と仲間を作り、政党を作る。

### 選挙制度について

#### (小選挙区制・比例代表制ドント式)

小選挙区制は人を選ぶ。一人の当選者が生まれる。例えば20票と19票と1票の違いでも、20票の人しか当選しない。

比例代表制…ドント式は政党を選ぶ。少ない票しか集まらなかった党にも当選のチャンスが

#### ワークシート①

|            |  |
|------------|--|
| 何をしたいか     |  |
| 学校に何を残したいか |  |

#### ワークシート②

|            |  |
|------------|--|
| 党名         |  |
| 党首         |  |
| 何をしたいか     |  |
| 学校に何を残したいか |  |
| みんなへのメッセージ |  |

\*この用紙がマニフェストとなる。

## 5つの党が生まれた

|            |                 |
|------------|-----------------|
| 党名         | ありが党 党員5人       |
| 党首         | 女子              |
| 何をしたいか     | 朝掃除をする          |
| 学校に何を残したいか | 掃除の楽しさ きれいになる喜び |
| みんなへのメッセージ | あなたの掃除を変えてみせます  |

|            |                    |
|------------|--------------------|
| 党名         | マナー党 党員5人          |
| 党首         | 男子                 |
| 何をしたいか     | 挨拶・返事・後片付けの強化      |
| 学校に何を残したいか | 挨拶・返事・後片付けの良さ      |
| みんなへのメッセージ | 挨拶・返事・後片付けを未来に続けよう |

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 党名         | 何だ党 党員3人          |
| 党首         | 男子                |
| 何をしたいか     | 笑わせる              |
| 学校に何を残したいか | 笑いの良さ*冷ややかな笑いはNG  |
| みんなへのメッセージ | 笑わぬなら 笑わせてみよう 何だ党 |

|            |            |
|------------|------------|
| 党名         | 上党 党員5人    |
| 党首         | 男子         |
| 何をしたいか     | 困っている人を助ける |
| 学校に何を残したいか | 優しさ        |
| みんなへのメッセージ | みんなを助けます   |

|            |                   |
|------------|-------------------|
| 党名         | 納党 党員5人           |
| 党首         | 男子                |
| 何をしたいか     | 残食0を目指す           |
| 学校に何を残したいか | 食べ物の大切さ           |
| みんなへのメッセージ | おなかいっぱい食べて 大きくな～れ |

## ルール作り・禁止事項の確認

政党组织と同時に選挙についてのルール作りを児童と共に行う。実社会でも公職選挙法があることを教える。不正なく平等に選挙を行うために、どういうルールが必要かを考えさせた。

ある。  
そこから2つの選挙制度の長所と短所を考えさせ、死票などの言葉を教えた。

結果、私たちの選挙法として禁止事項がいくつか生まれた。

禁止事項……賄賂、脅し文句、誰に投票したかの確認、他党への攻撃

また、政党の所属人数を何人までとするか。どんな党員を増やすのは、選挙前に結果が出てしまう。党に入党し、選挙活動を支えるのは何人までにするべきかの意見が出た。そこで、1つの党に所属できるのは5人までとした。その時

## 報道陣（女子2人）

に、1番多かった党の人数が5人だったため、その人数とした。

公正公平な立場で取材を行い、新聞を作り、教室の後ろの黒板に貼り出した。党首への取材では、現時点での手応えを書き、選挙を盛り上げた。

## 政党の意見をみんなに届ける

投票日である授業参観日に、各政党（上の表）の考えを理解してもらうためのPR映像（2分以内）を政党ごとに撮影した。

また、ポスター製作をしながら、各政党が自分たちの主張を分かりやすく発信し続けた。

党首は、帰りの会の短い時間で、自分たちの主張と他党の考えの弱点を指摘する公開討論を行った。指摘は攻撃をするのではなく、実現可能な話なのか、これで学校は良くなるのか。卒業までの期間が充実したものとなるのかを穏やかに話し合った。

例えば、上党の掲げる「困っている人を助ける」は、具体的に誰が何をいつするのか、困っている人と出会うチャンスはあるのか、といった質問が出た。そこで、困っている人を助けるとは「ボランティア精神を育てる」ことだと答えた。次に「具

## 学級模擬選挙当日 授業3時間目

学級通信や児童の口コミにより、授業参観で

体的には」と聞かれると、「……」。自分で気が付き行動する。」と答えた。

ありが党に対しては、「部活の朝練習があり、朝掃除に参加できない。」という意見があるが、どのように考えているかという質問がされ、朝掃除だけに1点集中した公約では良くないことに気が付いていた。お互いの弱点を突き合うことで、党のメンバーは意見を練り直したり、考え直したりするなど、自分たちを見つめ直す良い時間となっていた。



ポスター作りを行う児童



でき上がったポスター

選挙が行われることを事前に告知したこともあり、大勢の保護者が来校した。

党首による熱のこもった演説や事前に撮影したPRビデオを見た後、投票用紙を配り、黒板前に置かれた投票箱へ各自が1票を投じて模擬選挙を実施した。

今回は小選挙区制で1人の当選。比例代表制で9人の当選とした。合計で10人の議員が学級に誕生する。

(小選挙区制 投票結果 (当選者 1 名))

| 政党名   | 納党   | 何だ党    | マナー党          | ありが党 | 上党     |
|-------|------|--------|---------------|------|--------|
| 立候補者  | 男子H  | 男子O    | 男子B           | 男子A  | 女子I    |
| 何をするか | 残食問題 | 笑いある生活 | 挨拶・返事・後片付けの強化 | 掃除   | ボランティア |
| 投票数   | 18   | 12     | 20            | 11   | 7      |

\* マナー党の党首が当選

(比例代表制ドント式 投票結果 (当選者 9 名))

|      | 政党名  | 納党             | 何だ党          | マナー党           | ありが党         | 上党          |
|------|------|----------------|--------------|----------------|--------------|-------------|
| ドント式 | 投票数  | 19             | 10           | 22             | 10           | 7           |
| ÷ 1  | 立候補者 | 女子T            | 男子S          | 女子S            | 男子A          | 女子T         |
|      | 投票数  | 19<br>当選 (2)   | 10<br>当選 (4) | 22<br>当選 (1)   | 10<br>当選 (4) | 7<br>当選 (8) |
| ÷ 2  | 立候補者 | 女子I            | 男子O          | 女子T            | 女子I          | 女子I         |
|      | 投票数  | 9.5<br>当選 (6)  | 5            | 11<br>当選 (3)   | 5            | 3.5         |
| ÷ 3  | 立候補者 | 男子H            | 女子S          | 女子I            | 男子K          | 女子T         |
|      | 投票数  | 6.33<br>当選 (9) | 3.33         | 7.33<br>当選 (7) | 3.33         | 2.33        |
| ÷ 4  | 立候補者 | 女子H            |              | 男子S            | 男子T          | 男子N         |
|      | 投票数  | 4.75           |              | 5.5            | 2.5          | 1.75        |
| ÷ 5  | 立候補者 | 女子S            |              | 男子B            | 女子A          | 男子Y         |
|      | 投票数  | 3.8            |              | 小選挙区制で当選       | 2            | 1.4         |



当選直後に喜ぶマナー党の党首と党員

\* マナー党が4人もの議員を出した。全党、最低一人は議員を出すことができた。

ここからは、総合的な学習の時間で予定されていた「勤労奉仕」として授業を続けた。総合学習の導入と社会科をセットにして授業を進めたことで、勤労奉仕の導入になった。こんな学校になってほしい。自分たちが学校に残したいことについて、選挙を通して考えることができた。

## 10人の議会が動き出す

議員を集め、休み時間を使って話し合いをさせ、実際に行うことを詰めていった。

学級模擬選挙時には、選挙のことで頭がいっぱいで気が付かなかったことに気付く。「後片付けって掃除のことじゃないか。」

そこで、ありが党の議員から自分たちのやりたかったことを一緒にやりませんかと提案があり、実行することになった。

朝掃除を校内で行い、そこで挨拶や返事を行った。部活で参加できない児童は休み時間などに行った。

### マナー党「挨拶・返事・後片付けの強化」

|      |                                                         |
|------|---------------------------------------------------------|
| 挨拶   | 登下校で挨拶を積極的に行い、良い挨拶を返してくれた後輩に「サンキューカード：メッセージを書いたカード」を渡す。 |
| 返事   | 名前を呼ばれた時に元気良く返事をする姿を後輩に見せる。                             |
| 後片付け | 綺麗な学校にする。                                               |



マナー党が呼びかけた合言葉



低学年生と朝掃除

朝掃除が始まった。すると一緒に掃除をしてくれる後輩がたくさん現れた。しかし、昇降口などの掃除場所は一、二年生が掃除の仕方を分からない。一緒にやろうとしてくれるのはいいが、教えるだけになり、実際に綺麗になっていないのではという意見が出た。

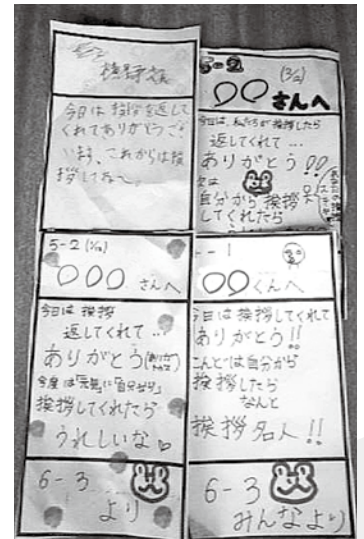
また、夢中になって掃除をすると、挨拶が疎かになることも議題が上がった。

そんなこんなで話している間に1週間が経つと、低学年生も掃除の仕方を覚え、六年生と一緒に行うことができるようになってきた。

挨拶も意識することで変わっていた。

毎回掃除に来てくれる後輩や挨拶の上手な後輩に「サンキューカード」を渡した。人の良いところをたくさん探して、それを伝える良さも教えていった。

このサンキューカードの活動は、1年を通して



後輩に送るサンキューカード

学級で行ってきた。友達の良いところや頑張りを書いて渡し合う活動である。

学校がどんどん綺麗になる。本気でやれば挨拶も溢れてきた。

また、全政党が掲げた公約の多くを、自然にこなせるようになってきた。朝から掃除をするとおなかのへりも良く、残飯が減ってきていた(放課後の残飯調べ)。ボランティアで掃除をする後輩が増えた。楽しくやると自然と笑いが起きる。議員の10名は、そこに気が付いてきた。

残りの登校日数が少なくなると、まだ何かしたいと思うようになってきた。登下校にゴミ拾いをする、通学路ゴミゼロ作戦を秋から本格的に行ってきたこともあり、通学路のゴミがほとんどなくなった。たまにタバコの吸い殻があるぐらいになっていった。そこで、もっとゴミ拾いをしよう

ということになり、議員が知恵を出し合い、公園の掃除を放課後にできる人で行うことにした。毎日のように近隣の公園でゴミ拾いや清掃活動が行われた。



普段は掃除をしない場所も綺麗に

学級模擬選挙を行ってから奉仕活動に入ったことで、一人ひとりの当事者意識が芽生えた。1票を投じたことで、児童に積極性や主体性が見られ、自分たちで行う楽しさを感じていた。学級会の話し合いで決めた時よりも自分たちで動く場面が多く生まれた。選挙で選ばれた議員が中心となって、学級全員のベクトルが同じ方向へと動き出した。議員は選ばれた意識が強く、自分たちで課題を見つけ、話し合いを重ねた。議員自らがよく働き、級友からも信頼される存在となっていた。

また、卒業前の限られた時間だからこそ、一人ひとりのやる気が以前と違ったようにも感じた。期間限定の企画だけに、何か残してやろうという気持ちを持っている児童が多かった。

選挙の仕組みや選挙についての理解も十分に深まったと感じている。以前の六年生を教えた時も、1票の大切さや選挙権について授業を行

ったが、感想では「小選挙区制では一人しか当選しない。死票が多い。選挙の仕組みが分かった。」などの知識だけの感想が多かった。しかし、今回の授業では、知識はもちろんのこと、選挙の面白さや難しさ、投票する時の悩み、自分が持つ1票の価値、その時の感情や思いが様々に書かれていた。党に入っていない児童の感想の中に、「最後の最後まで悩んだ。何をやればこの学校がもっと良くなるか。自分たちの学級の良さを發揮するためには、どこに投票するか。」と、葛藤が書かれていた。その児童は開票時にドキドキしたと、後日話していた。黨員でない児童も十分に選挙を楽しみながら学ぶことができたようだ。

課題としては、政党の作り方や入党できる人数を最初に決めてしまったことが挙げられる。後から、入党を希望した児童は、サポーターとして党を応援することができるようになったが、党员にはなれないようにした。選挙前から大きな勢力を作りたいくない思いから、私自身も巨大政党の誕生を避けてきた。もう少しそこを柔軟に考え、人数を調整しても良かったように思う。

改めて、机上で考えを学ぶのと実際に行うのでは、大きな差があることを学んだ。これからも私自身学び続け、実践を繰り返していき、児童が本気で取り組み、成長していける授業を展開していきたい。

## 受賞の言葉

千葉県船橋市立一宮小学校

河邊昌之



この度、特別賞を頂き大変光栄に存じております。感謝申し上げます。

選挙権が18歳に引き下げられることが国会で決定しています。六年生の子どもたちは、6年後には1票を投じる国民になります。小学校では、まず模擬選挙を通して、立候補者やその政党の考えに耳を傾け、代表者を選ぶことの大切さを教えていきます。また、「選挙が無ければどうなるか」を考えさせ、一人ひとりが持っている参政権の大切さについても伝えていきます。今回の実践で、自分たちで決めたことについては、最後まで責任を持って取り組み、という子どもたちの姿を改めて目の当たりにしました。

教師とは、自らが学び続け、児童と共に成長し続ける仕事だと思っています。今後も小学校でできる主権者教育の実践を更に追求し、「感謝教育」「所属感教育」「主権者教育」の3本柱を高く、太くしていきたいと思っています。